

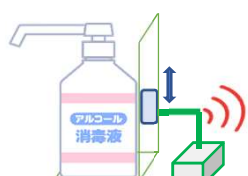
駅センサエリアに設置した各種センサ



駅員の省力化をコンセプトとして、IoT化した駅を実現しました。


IoT開発プラットフォームデバイスに接続したセンサにより、駅設備の状態や旅客の動きを自動で検知します。

液面センサ



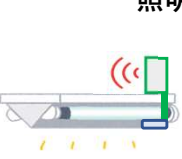
静電容量センサにより、近接した液体を検知して、残量を通知します。

SOSボタンセンサ



ボタン接点入力により、ボタン押下場所を通知します。

照明センサ



照度センサにより、照明の点灯状態を検知します。

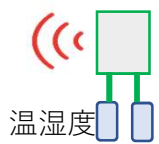
環境、液面表示モニタ



温湿度、CO2濃度、消毒液の残り状態を集約、表示します。

温度	24.2 °C	湿度	40.0 %
CO2濃度	821 ppm	アルコール残量	少

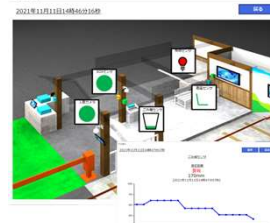
環境センサ



ブース内の環境を温湿度センサ、CO2センサにより測定しています。




駅センサモニタ



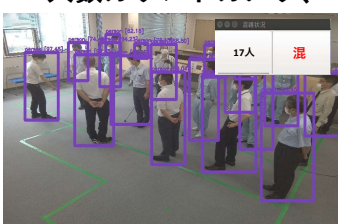
ホーム付近のセンサ情報を集約し、検知状態を表示します。

着座センサ



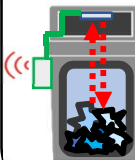
圧力センサにより、イスに座っている人（圧力）を検知します。

人数カウントカメラ、モニタ



AIカメラにより、検知エリア内の人数をカウントし、混雑状態を判定します。

ゴミ箱センサ



距離センサにより、ゴミ箱内のゴミ量を検知、通知します。